



2018年8月10日

各 位

会 社 名：株式会社夢真ホールディングス
（コード：2362 JASDAQ）
代表者名：代表取締役社長 佐藤 大央
問合せ先：取締役管理本部長 添田 優作
（TEL：03-3210-1212）

当社子会社（株式会社夢テクノロジー）の 業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社夢テクノロジー（コード番号：2458 JASDAQ）は、2018年8月10日、2018年9月期通期の業績予想の修正並びに特別損失の計上を発表いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、本件が当社の2018年9月期の連結業績にあたる影響につきましては、本業である建設技術者派遣事業が想定を上回る技術者数の増加および派遣単価の上昇により好調に推移しており、また不採算事業の整理につきましても期初計画より前倒しで進んでいることから軽微となる予定です。

以 上



各 位

会 社 名 : 株式会社夢テクノロジー
 (コード : 2458 JASDAQ)
 代表者名 : 代表取締役社長 本山 佐一郎
 問い合わせ先 : 取締役副社長 金子 壮太郎
 (TEL : 03-6420-3828)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 11 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました平成 30 年 9 月期（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 9 月期 通期 連結業績予想値の修正（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 連結当期純利益 |
|---------------|--------|--------|--------|-------------------------|-------------------|
| 前回発表予想 (A) | 10,000 | 650 | 630 | 410 | 円 銭 31.70 |
| 今回修正予想 (B) | 10,000 | 380 | 380 | 180 | 13.91 |
| 増 減 額 (B - A) | 0 | △270 | △250 | △230 | — |
| 増 減 率 | 0 | △41.5% | △39.7% | △56.1% | — |

(注) 当社は、平成 30 年 9 月期 第 1 四半期連結会計期間より、連結財務諸表を作成しているため、前期実績に関しましては記載しておりません。

2. 理由

当社は、当連結会計年度末（平成 30 年 9 月末）の期末在籍エンジニア数目標を 2,400 名とし、採用活動に注力してまいりました。その結果、平成 30 年 6 月末現在の在籍エンジニア数が 2,158 名となり、達成率 89.9% と堅調に推移しております。

7 月単月においても、採用実績約 200 名と好調を維持しており、来期以降を見据え、更なるエンジニア数の増員を目指すべく、採用コストを積み増しする事といたしました。また、好調な採用によるエンジニア数の増加により一時的に稼働率が低下し、売上総利益が軟調になることを想定しております。

採用活動への追加投資に付随し、管理部門の拡充および営業員の増員を計画しているため、販売費及び一般管理費の増加を加味した連結営業利益および連結経常利益へと修正しております。

また、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、上記理由に加え、当社が保有する有価証券が、簿価に比べて実質価格が著しく下落したことによる減損処理にともなう特別損失として、150 百万円を当第 3 四半期連結会計期間に計上したため、上表の数値へと修正しております。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上



各 位

会 社 名 : 株式会社夢テクノロジー
(コード : 2458 JASDAQ)
代 表 者 名 : 代表取締役社長 本山 佐一郎
問 い 合 せ 先 : 取 締 役 副 社 長 金子 壮太郎
(T E L : 03-6420-3828)

特別損失（投資有価証券評価損）に関するお知らせ

当社は、平成30年9月期第3四半期連結決算において、特別損失（投資有価証券評価損）を下記の通り計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が保有する有価証券につきまして、簿価に比べて実質価格が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損として新たに150百万円を特別損失に計上いたします。

2. 今後の見通し

本件による平成30年9月期の当社連結業績に与える影響につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上